

# 施工分科会報告（平成17年度）

施工分科会主査 田辺登

（昭和第一学園高等学校）

施工分科会は、施工の授業において、生徒に興味をもたせ分かりやすく内容を伝える方法として視覚的補助教材の研究をここ3年来実施している。内容は表1になる。

平成年度	研究内容	発表大会	発表日
15	鉄筋コンクリート工事躯体工事	山梨大会	7月31日
16	同 仕上工事	群馬大会	7月26日
17	同 土工事	岐阜大会	7月28日

表1 施工分科会研究内容

また、木材加工部門高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会は、昨年度の群馬大会においてブロック活動が承認され、今年から関東ブロックとして始動した。しかしながら、大会運営上の経験者不足の懸念、そして実行委員募集の準備不足から、メンバーの半数以上を施工分科会委員としたので、関東大会実行委員会は施工委員会と同日同会場とした。

この報告は、施工分科会、高校生ものづくりコンテスト関東大会の2報告とする。

## 1、年間活動

平成17年4月25日 第1回施工委員会（会場：安田学園高等学校）

第1回高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会

『内容』・研究資料の確認 ・関東大会要項確認と発送

5月26日 ものづくり関東大会会場確認（日本工業大学）

5月27日 第2回施工委員会（会場：安田学園高等学校）

第2回高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会

『内容』・研究資料確認と整理 ・関東大会一次締め切り結果と対応

6月24日 第3回施工委員会（会場：安田学園高等学校）

第3回高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会

『内容』・研究内容のまとめ ・関東大会参加者確認、評価の確認

7月 8日 第4回施工委員会（会場：安田学園高等学校）

第4回高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会

『内容』・資料確認と岐阜大会への資料郵送・ものづくり関東大会準備

7月15日 ものづくり関東大会会場準備、材料搬入確認

7月16日 木材加工部門

高校生ものづくりコンテスト関東大会（日本工業大学）

7月28日 東日本建築教育研究会岐阜大会

施工分科会にて研究発表

8月29日 第5回施工委員会（会場：甲府工業高校）

『内容』・平成17年度研究のまとめと反省  
9月30日 第5回高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会  
『内容』・第5回大会のまとめと反省

## 2、施工分科会研究

本年度の研究は、建築施工の授業の効率化、生徒の理解力向上を目的として、『視覚的補助教材パート3～土工事編』とした。内容は、仮設、杭打、鉄筋、山留、根切、山留支保工、型枠、コンクリート打設の87ページであるが、本研究会岐阜大会にて発表したのので、次に一部を載せる。



仮設工事



山留め・杭打ち



鉄筋工事



山留め支保工



コンクリート打ち



根切り工事

### 3、木材加工部門高校生ものづくりコンテスト関東大会について

本年の第5回大会より課題は、小屋組（図1）となった。大会は下記のようなのである。

#### 1) 大会運営

大会名：第5回木材加工部門高校生ものづくりコンテスト関東大会

主催：全国工業高等学校長協会関東支部

木材加工部門高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会

日時：平成17年7月16日（土）

受付・12時～、競技・13時～15時30分（2時間30分）

会場：日本工業大学

所在地・埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1

参加者：37名（22校・1都7県、申し込み後の欠席者除く）

#### 2) 結果

第1位 森田小百合 東京都立工芸高等学校インテリア科2年

第2位 野沢周平 栃木県立小山北桜高等学校建築システム科3年

第3位 山井良輝 東京都立葛西工業高等学校建築科3年

以上であるが、森田さん、野沢君は全国大会出場。森田さんは8月7日に実施された全国大会においても優勝した。



図1 新課題、優勝作品





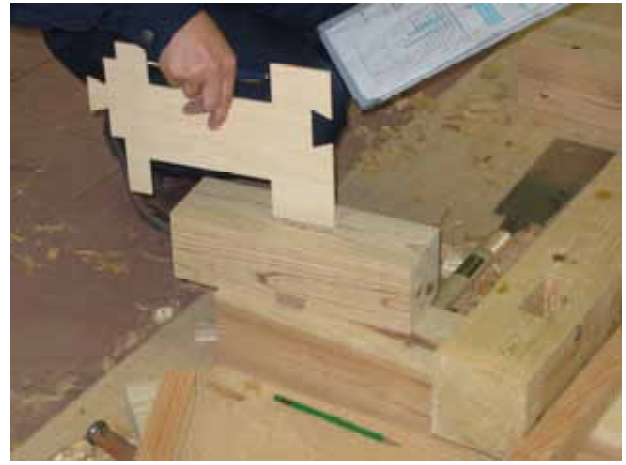
作業場所の抽選



競技中



競技中



一次審査中



組み立て



二次審査中

#### 4、まとめ

施工分科会研究の『視覚的補助教材パート3 土工事編』は内容も良く、評価も高かった。木材加工部門高校生ものづくりコンテスト関東大会実行委員会は、各1都7県に2名ずつ委員を出すよう依頼したがまとまらず、施工委員が半数以上となってしまった。今後においては各都県の代表者による実行委員会を期待する。